＊2026年5月改訂（第6版）
2015年5月改訂（第5版）（新記載要領に基づく改訂）

類別：医 04 整形用品
高度管理医療機器 17751000 人工骨インプラント

医療機器承認番号：22200BZX00574000

アパセラム-S4

再使用禁止

【禁忌・禁止】
（使用方法）
・再使用禁止
（禁忌症）
・次の疾患がある患者には使用しないこと
（1）血液疾患（白血病、血友病、敗血症等）
（2）重症肝機能障害
（3）重症心腎疾患
（4）再発の危険性がある感染性疾患
（5）長期にわたるステロイド剤、抗血液凝固剤等の使用症例
（6）本品の補填に耐えない重度の骨粗鬆症または骨軟化症等の骨疾患

【形状・構造及び原理等】

1. 形状・構造
本品は気孔率が27−45％の多孔体であり、三点曲げ強度は10MPa以上である。椎間、椎体及び棘間を補修、置換、補填するのに適した形状を有する。椎間や椎体に補填、置換するものは概ね直方体状、ベース状、ギア状の形状を有し、挿入しやすいようにテーパーが施されたり彎曲したもの、滑り止め用の突起や溝を持つものもある。また、棘間に挿入するものは鼓状、H字状、椅子状の形状を有する。

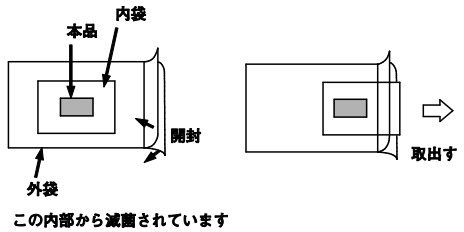
2. 原理
本品は高純度の合成ハイドロキシアパタイトからなり、骨組織の主要成分である生体アパタイトと同質の骨補填材である。本品は生体適合性に優れ、骨組織形成の足場を与えることにより、早期から新生骨の形成を促す。また新生した骨組織と本品は直接結合する。

【使用目的又は効果】

悪性腫瘍又は脊椎症、椎間板ヘルニア若しくは脊椎分離・すべり症等の治療のため脊椎固定を必要とする患者の、椎間、椎体及び棘間の補修、置換、補填

【使用方法等】

（術前）
1. 全身及び局所の諸検査（血液学的、X線検査等）により本品の適用の可否を検討し、補填が可能な場合、使用部位、使用目的に応じて適する製品を用意してください。
2. 使用の前に、滅菌袋及び外箱に表示されている有効期限を確認し、有効期限が過ぎている場合は使用しないでください。
3. 本品が使用できないことによる手術の中断を避けるため、予備を準備してください。
（開梱）
4. 本品は二重に包装された滅菌済み製品です。外袋の内側より滅菌されているので、図のように外袋を開封後、無菌的に内袋を取り出してください。



5. 汚染を避けるため、内袋の開封はなるべく補填直前に行ってください。滅菌袋が破れている場合、誤って開封した場合及び使い残した場合は使用しないでください。
（補填）
6. 補填に際し、必要に応じて各種骨バー、ディスクを用いて生理食塩水注水下で局所の骨組織を切削し、本品の初期固定が十分実現できるように工夫してください。
7. 骨欠損部に本品を慎重に補填してください。糸孔を有する製品については、必要に応じて縫合糸で骨に固定してください。創部は完全に縫合閉塞し、術後、必要に応じて抗生物質、消炎剤、鎮痛剤及び止血剤を投与してください。また、脊椎ロッドやスクリュー等を使用した免荷、安静等の指導の他、必要な措置を施してください。
※ 体内固定用ケーブルを併用する場合は、ネスプロンケーブルシステム（21200BZZ00270000）を使用してください。
（術後）
8. 術後定期的に本品と骨の親和性が十分保たれていることをX線写真等で観察してください。

【使用上の注意】

1. 使用注意（次の患者には慎重に適用すること）
1）高血圧症、低血圧症
2）喘息
3）糖尿病
4）リウマチ熱
5）甲状腺機能亢進症
［1)〜5）副作用発生のリスクが高まるおそれがある］
6）その他担当医師が不適当と認めた症例

2. 不具合・有害事象
2. 1 不具合
補填時に必要以上に荷重を加えると破損することがある。

2. 2 有害事象
本品の使用により感染、腫脹、瘻孔形成、露出が生じたとの報告がある。症状が発現した場合には、症状に応じて適切な処置を行うこと。

【臨床成績】

アパセラムの臨床使用下で実施された副作用調査（合計860例）は下表のとおりで、不具合の報告はなく、8例（0.93%）に有害事象が認められた。

調査症例数	860
発現症例数	8（0.93%）
感染	4（0.47%）
腫脹	2（0.23%）
瘻孔形成	1（0.12%）
露出	1（0.12%）

※調査期間：昭和60年5月31日〜昭和63年5月30日

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法
高温、多湿、直射日光を避け室温で保管

2. 有効期間
有効期限〔自己認証（当社データ）による〕として滅菌包装及び外箱に表示

＊【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者及び製造業者
HOYA Technosurgical 株式会社
電話：03-5369-1710

添付文書管理番号：AP700906